

平成27年度 第1回介護保険運営協議会 会議結果

日時 平成27年10月6日(火) 午後3時から

場所 ホテルニューオータニ佐賀 2階

【出席委員】

古賀(義)会長、上村副会長、光藤副会長、石丸委員、大川内委員、大隈委員、角本委員、黒木委員、小井手委員、凌委員、田中(須)委員、筒井委員、徳永委員、徳丸委員、豊田委員、中下委員、野田委員、橋本委員、馬場委員、原田委員、平松委員、藤岡委員、堀委員、松尾委員、松永委員、眞子委員、田中(稔)委員、園田委員

【欠席委員】

藤佐委員、北川委員、久野委員、倉田委員、古賀(香)委員、鍋島委員、八谷委員、吉田委員、

【事務局】

御厨副広域連合長、松尾事務局長、
石橋総務課長兼業務課長、深町認定審査課長兼給付課長、
熊添総務課副課長兼行財政係長、蘭業務課副課長兼業務係長、
谷口給付課参事兼副課長兼包括支援係長、宮地副課長兼認定調整係長、
本村総務課庶務係長、吉岡業務課賦課収納係長、
山口認定審査課介護認定第一係長兼障がい認定係長、副島認定審査課介護認定第二係長、
柴田給付課指導係長、野田給付課給付係長

【会議の内容】

- 1 開会(午後3時00分)
- 2 委嘱状交付
- 4 副広域連合長あいさつ
- 5 会長、副会長の選任
互選により、会長に古賀(義)委員、副会長に上村委員、光藤委員を選任
- 6 議事
 - (1) 平成27年度主要事業について 承認
事務局説明の詳細については、議事案件のとおり
 - (2) 地域支援事業について 承認
事務局説明の詳細については、議事案件及び資料2のとおり

(3) 平成26年度主要事業の報告について 承認
事務局説明の詳細については、資料1のとおり

[主な委員意見等]

◆委員 地域密着型サービスに対する考え方で、公募するサービス内容と整備見込数等の説明を聞いたが、2025年に向けて、整備状況はどうなっているのか。対応できる進捗状況なのか。

◇事務局 第4期、第5期の事業計画では、設置計画数は、理想数として見込み数を掲げていたため計画数には満たないが、第6期からはそれまでの実績を踏まえ、事業所の参入が見込める具体的な数に変更をしている。これに加えて、特別養護老人ホームが原則要介護3以上の利用になるため、要介護1や2の軽度の方が困らない施策として、全国平均を上回る整備の計画数を見込んでいる。

◆委員 地域支援事業について、経過措置を用いているので、平成27年度からの実施ではないということは理解しているが、現時点で、いろいろと準備を進めておかないと非常に混乱が生じると思う。確かに猶予期間中ではあるが、制度は施行しているのでは、具体的に動いておく必要があるのではないか。

◇事務局 地域支援事業のうち、総合事業については、平成29年度からの実施としている。また、この総合事業と密接に結び付く生活支援体制整備事業というものがあるが、これについては、平成28年度から段階的に実施をするということで、今回、基本方針にも掲示している。

また、総合事業のうち、一般介護予防事業等については、非常に重要な要素になってくる。現行の介護予防事業でもさらに推進していくような体制をとっていく考えでいる。

◆委員 包括的支援事業において、新しく3事業が増えるが、市町ごとの事業であり、現行の踏襲であるので、事業の実施については、特に変わらないと考えてよいのか。

また、市町の格差は発生しないのか

◇事務局 新しい3事業は、項目としては、新規だが、現在の事業内容の中で、重点的な施策に力を込めるためにも、既存事業を拡張して位置づけたものと考えられる。このことを踏まえ、現在、市町を中心として実施している包括的支援事業は、制度改正後も市町が中心となり実施する必要がある。よって市町が中心となって事業構築を行い、その後、各地域包括支援センターの運営にも反映されていくと考えている。

基本的にこの事業の内容は、国で作られたメニューであり、市町の格差は生じない。ただし、市町ごとに取り組んでいく手法等は、若干の揺らぎは生じる可能性がある。

〔意見〕

◆委員 地域ケア会議を充実するためにも、会議の中で検討を行うための手法を示したマニュアルが必要だと考える。

◆委員 地域包括支援センターは、現在、十分に頑張っているが、全体的な相談件数の増加、あるいは、困難事例の増加という状況の中で、職員の身体的疲労・精神的疲労が高まっている。

これ以上の相談件数の増加や業務の拡大があるならば、地域包括支援センターの体制について、今後の事業展開の中で、人員増加を踏まえた予算の検討も必要である。適切な対応が必要だと考える。

◆委員 各地域包括支援センターが十分に機能しているかという検証が必要であると考え。また、その検証の中で、基幹型の活動が必要な場面が見えてくるはずである。必要な場面では、積極的に基幹型が活動すべきであると考え。

7 閉会（午後4時10分）